



二輪草だより

イブニングセミナー終了報告

二輪草センター長 山本明美

「医療現場にひそむアンコンシャスバイアス」と題するセミナーを2023年5月22日、オンラインで開催しました。講師は一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所の太田博子先生で、1時間半にわたり、クイズやアンケートを交えながら双方向性の講演会となりました。アンコンシャスバイアスとは、無意識のうちに“こうだ”ととっさに思い込むことですが、講演参加した2名の学生と39名の職員の多くがこれまで詳しく聞いたことがないと答えていました。

代表的なアンコンシャスバイアスとして、ステレオタイプ（ある属性に対する先入観や固定観念で、みんなそうだと思い込む傾向）、正常性バイアス（警告のシグナルを軽んじ、このくらい問題ない、と思い込む傾向）、権威バイアス（権威があると思える人の言動に対して、従ったほうがいいと思い込む傾向）、集団同調性バイアス（周りの言動に合わせてなくなる傾向）、現状維持バイアス（変化を避けたい傾向）などを紹介いただき、自分や周り（医療現場を含めて）にそれがあふれていることに気付きました。

また、太田先生らが2022年に発表した「がんと仕事に関する意識調査報告書」の内容の一部も紹介いただき、「無理をせず、治療に専念するように言われた」ことが嬉しい人と、逆に戦力外通告のように感じてしまう人がいることなど相手のうけとめかたはひとそれぞれであることをデータをもとに示していただきました。

事後アンケートには19名の参加者からの回答がよせられ、14名からセミナーの内容に非常に満足もしくは満足という評価をいただきました。自由記載欄には「腫瘍患者さんのアンケートが大変参考になった。同じ声かけでも全く違った捉え方がされる事に気づいた。」「オンラインだったが、アンケートに答えながらの双方向性のセミナーであったので参加している実感があった。」「自分の日常に多数のアンコンシャスバイアスがあることを認識できた。自分自身の傾向にも気づけた。」「今まで知らなかったアンコンシャスバイアスという概念を知ることができ、自分が思っているよりも自分の先入観や価値観で物事を認識していることに気付くことができました。」「あらかじめ対象の個人や団体の考えや姿勢をこうだ、と予想して臨むことは安全、効率化のために必要なことが多いが、社会をよくするため、変えていくためにはバイアスをもたずに接してみることで有効な場面があると考えようになった。」等、数多くの声によせられました。今回のテーマが多く医療職者に好評をいただけたことを主催者として大変嬉しく思います。二輪草センターは、今後も働きやすい職場、学びやすい大学の実現のため、活動を継続しますのでご期待ください。

病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【5月20日～6月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	21回	稼働回数	20回
病児・病後児保育室	依頼回数	22回	利用回数	20回
カウンセリング相談	利用回数		利用回数	3回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

夏休みキッズスクール

開催のお知らせ

学童保育サポートの一環として夏休みキッズスクールを開催します。
今年3年ぶりの対面での開催を予定しておりますので皆さんの参加をお待ちしています。

対象児童: 旭川医科大学職員の児童(小学校1~6年生)
定員: 15名前後(申込多数の場合は抽選)
日時: 2023年7月24日(月)
午前8時15分~午後5時15分
(プログラム活動時間午前9時~午後4時)
参加費: 2,000円(損害保険代金800円込み)
(昼食・おやつ・飲み物・雑費等含む)
申込受付: 6月27日(火)~30日(金)
▼参加希望者または詳細につきましては二輪草センターまでご連絡下さい

プログラム

- * 特別授業・職場見学: 『リハビリテーションのお仕事』
講師: 呂 隆徳先生
- * 工作: 縁日で遊ぶ用具作り(釣り竿、弓矢など)
- * キッズ縁日: ヨーヨー釣り、わたあめ作り、ゲーム他
- * 学生の活動: 熱中症に気をつけて楽しく遊ぼう!

※都合によりプログラムは変更になる場合があります

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL: 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX: 0166-69-3249

開設時間 8時30分~17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

